

飼料価格高騰対策緊急支援事業

～国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用～

事業概要

飼料価格の高騰が畜産経営を圧迫しているなか、配合飼料及び輸入粗飼料の使用量削減に取り組む畜産農家に対し、飼料価格高騰額のうち農家負担分の一部を支援する。

奨励金交付単価

交付対象数量

配合飼料: 5,800円/トン以内

岐阜県内で飼養している家畜に給与する配合飼料のうち、令和7年10月から12月の3か月分(配合飼料価格安定基金の契約数量又は補填対象数量に応じて交付)

粗飼料: 8,300円/トン以内

輸入粗飼料の交付対象数量は、交付対象となる配合飼料の数量に基づき算定した数量

事業実施主体

岐阜県畜産協会、岐阜県酪農農業協同組合連合会

配合飼料の使用量削減に資する取組

下記の取組から、1つ以上取り組むこと。

輸入粗飼料に対する支援に参加する場合は、2つ以上に○印を記入する。

取組事項	取組内容
①自給飼料生産の拡大	・草地造成等を行い、生産基盤を拡大する。 ・自給飼料の作付面積を拡大する。 ・奨励品種を活用し、単収向上を図る。
②飼料用米等の利用	・自家配合等により、国内で生産された飼料用米・子実トウモロコシを利用する。 ・稲WCSを利用する。
③エコフィードの活用	・エコフィード等未利用資源を飼料として利用する。
④公共牧場の活用	・公共牧場等を活用し、放牧を行う。
⑤飼料効率の向上	・アミノ酸・乳酸菌など飼料添加物を使用等により、飼料効率を向上する。
⑥飼養頭羽数の縮小	・早期出荷や畜舎空舎期間の延長等により、一時的に飼養頭羽数を縮小する。
⑦その他の取組	・上記①～⑥以外で、事業参加者が配合飼料の使用量削減につながる独自の取組を行う。

事業の流れ

